

着工期前に 安全認識共有

平田建設が大会

【帯広】平田建設（本社・土幌）は4月27日、土幌町総合研修センターで安全大会を開いた。写真。協力会社を含め100人が参加。無事故・無災害を達成するため、着工期の前に安全に対する認識を共有して意識を高めた。

長谷川雅毅社長は「作業前の安全教育を徹底し、注意事項が末端の作業員まで行き届いているか確認して」と呼び掛け

た。

講話で、嵯峨宏之帯広労基署長が建設現場での労災対策を紹介。土幌駐在所の丸橋和寿北海道警部補は、交通事故の防止について解説した。

小西睦教常務が本年度の取り組みを説明。土木部の阿部凌河さんが安全宣言した。

